

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	へき地歯科巡回診療車運営事業			担当部局	医政局			作成責任者
事業開始年度	昭和45年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	歯科保健課			課長：鳥山佳則
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成22年5月20日医政発0520第九「第十一次へき地保健医療計画等の策定について」			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	無歯科医地区及び無歯科医地区に準ずる地区(以下、「無歯科医地区等」という。)に対し巡回診療を行い、へき地における住民の歯科医療の確保。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	無歯科医地区等において、地方公共団体等が行う巡回診療車の運営等に必要な経費に対する財政支援を行う。 補助対象経費：報酬、給料、賃金、旅費、報償費、需用費等 補助率：1/2(国1/2、都道府県1/2)							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位：百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	4	4	3	3		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	4	4	3	3	0		
執行額	2	2	2					
執行率(%)	50%	50%	67%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	前年同程度の巡回診療を実施する。	受診患者数 ※26年度実績は集計中。 27年度目標値は暫定的に 26年度と同値。	成果実績	人	604	805	-	
			目標値	人	753	604	805	805
			達成度	%	80.2%	133.3%	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	へき地における無歯科医地区への巡回診療回数	活動実績	回	16	101	105		
		当初見込み	回	26	26	26	74	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y		千円	3.3	2.5	2.5	3.7	
	X:「執行額(27年度は予算額)」 Y:「受診患者数(26, 27年度は目標値)」	計算式	X/Y	2/604	2/805	2/805	3/805	
平成27・28年度予算内訳(単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	医療施設運営費等補助金	2.5						
	計	2.5	0					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	無歯科医地区等における安定した歯科医療の確保という国民や社会のニーズを反映しているものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	当該事業は、無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的として、安心した歯科医療環境の確保のためにも国が行うべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	当該事業は無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的とし、安心した歯科医療環境の確保のため優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱において補助対象経費、補助率(1/2)を定め、負担関係は妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業実施に必要な経費のみを補助対象としており、コスト水準は妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	各都道府県から事業計画書に必要な経費を記載させ、執行にあたり真に必要な経費のみに限定している。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	鹿児島県と栃木県の2県からの申請であったため、予算限度額申請に至らなかった。				
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	巡回診療は見込みを上回る回数を実施している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	当該事業は無歯科医地区等における歯科医療の確保を目的とし、安心した歯科医療環境の確保のため事業実施に必要な予算を確保している。平成26年度は栃木県と鹿児島県で事業を実施しており、へき地における歯科医療の確保を図るうえで、当該事業は必要である。					
	改善の方向性	事業の内容・規模・予算額等について精査し、適切な執行をして参りたい。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
<p>○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号: B5-2 社会保障: 医療サービスの機能強化と効率化 重点化提言(とりまとめ): 国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会での検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。</p>							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	35	平成23年度	30	平成24年度	31		
平成25年度	10	平成26年度	10				

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省1.8百万円

〔 地方公共団体等が行う、巡回歯科診療の運営費に対する補助。 〕

↓ 【補助】

A 都道府県(2) 1.8百万円

〔 巡回歯科診療の実施。 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.鹿児島県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事業を実施する歯科医師の給与	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿児島県	へき地における巡回歯科診療	1	-	-
2	栃木県	へき地における巡回歯科診療	0.8	-	-